

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 20 年 5 月 22 日 (2008.5.22)

【公開番号】特開 2006-200427 (P2006-200427A)  
 【公開日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-030  
 【出願番号】特願 2005-12314 (P2005-12314)  
 【国際特許分類】

F 0 4 D 13/02 (2006.01)

F 0 4 D 29/58 (2006.01)

【 F I 】

F 0 4 D 13/02 E

F 0 4 D 29/58 F

【手続補正書】  
 【提出日】平成 20 年 4 月 4 日 (2008.4.4)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ステーターコアに複数のコイルを巻いたステーターおよび軸に支えられマグネットを用いたローターを有したモーターと、モーターのコイル通電を制御する制御回路とを備え、ローターと一体成形した羽根車、前記羽根車を収容しポンプ室を形成するためのケーシングを備え、ポンプ室とステーターを仕切っている仕切板よりなるポンプであって、前記ステーター、制御回路および仕切板をインサートして樹脂モールドしたことを特徴とするポンプ。

【請求項 2】  
 仕切板は、ステンレスの金属であることを特徴とする請求項 1 に記載の ポンプ。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 9  
 【補正方法】削除  
 【補正の内容】  
 【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また本発明の仕切板を ステンレス で作ることにより、上記の P P S 樹脂でつくるより、仕切板の熱伝導が良くなり、コイルおよび制御回路の発熱部品をさらに冷却できる。